

以下 汚れあり

M  
5  
(17)

巻17

菅江真澄公羽筆

百白之圖

碓氷白磨撰

以下 破損

以下 虫食い

古事記傳六世和名抄子、曰、四聲字苑云、曰、春穀器也、和名字須、曰、碓、  
 祝尚、丘、切韻云、碓、踏、春、具也、和名加良、字須、曰、萬、華、字、依、比、豆、爾、夜、字、  
 碓、尔、春、庭、立、碓、子、尔、春、字、何、碓、子、碓、子、の、誤、也、加、良、字、須、也、云、杵、三、柄、の、  
 あり、由、少、く、碓、の、意、は、非、上、代、り、有、り、し、物、と、名、え、り、と、云、り、  
 柳、雙、生、坐、石、  
 七、葉、み、賜、子、  
 少、て、物、を、  
 碓、の、も、語、し、  
 賜、の、子、は、何、の、  
 由、少、く、有、り、  
 此、の、何、の、子、  
 所、以、ち、  
 事、の、  
 碓、の、字、須、と、訓、し、  
 諸、君、碓、を、碓、  
 加、良、字、須、と、訓、し、  
 其、故、御、子、の、御、名、  
 七、以、記、す、書、紀、  
 也、曰、少、く、書、也、  
 碓、と、書、け、り、本、碓、  
 小、因、也、の、こ、と、也、  
 故、不、古、より、此、也、



古事記傳六世和名抄子、曰、四聲字苑云、曰、春穀器也、和名字須、曰、碓、  
 祝尚、丘、切韻云、碓、踏、春、具也、和名加良、字須、曰、萬、華、字、依、比、豆、爾、夜、字、  
 碓、尔、春、庭、立、碓、子、尔、春、字、何、碓、子、碓、子、の、誤、也、加、良、字、須、也、云、杵、三、柄、の、  
 あり、由、少、く、碓、の、意、は、非、上、代、り、有、り、し、物、と、名、え、り、と、云、り、  
 柳、雙、生、坐、石、  
 七、葉、み、賜、子、  
 少、て、物、を、  
 碓、の、も、語、し、  
 賜、の、子、は、何、の、  
 由、少、く、有、り、  
 此、の、何、の、子、  
 所、以、ち、  
 事、の、  
 碓、の、字、須、と、訓、し、  
 諸、君、碓、を、碓、  
 加、良、字、須、と、訓、し、  
 其、故、御、子、の、御、名、  
 七、以、記、す、書、紀、  
 也、曰、少、く、書、也、  
 碓、と、書、け、り、本、碓、  
 小、因、也、の、こ、と、也、  
 故、不、古、より、此、也、

書考... 確あること... 〇參河國... 大なる社... 萬葉十六...

可流羽須波田... 古事記傳云... 加志能布... 〇横白...

富美岐宇麻良爾... 國主も大... 陸奥の蝦夷...

〇横白... 今世に... 横白と云... 白末は...

陸奥の蝦夷... 〇横白... 横白は...



然り ○釀大御酒ハ訶志比宮段の歌子  
 許能美岐表迦美祁牟比登波曾能都豆天宇須通多臣  
 宇多比都加美祁禮加母麻比都加美祁禮加母  
 あり酒上代ハ飯と水小漬一と白一入て春をうら  
 釀あり或人上古の酒一夜酒と米とあり一晝一夜ひも  
 ひも上代の酒ハ飯と水小漬一と白一入て春をうら  
 あり酒上代ハ飯と水小漬一と白一入て春をうら  
 万葉十六十三小味飯乎水釀成と  
 内人作り進懸三口ハ觀儀式大嘗會式ハ備備供奉  
 春一こと知し貞觀儀式大嘗會式ハ備備供奉  
 書紀ハ觀儀式大嘗會式ハ備備供奉  
 宮段ハ禮酒也ハ御酒ハ備備供奉  
 小秋子横白ハ御酒ハ備備供奉



信濃の白水の山路  
 在りし白作り

宇須と扇曲尺  
 ひし  
 さう  
 ち

曰作の翁の曰印良材、溪水小臨、生さうと、今その

左の木、まけを、見

菅江真澄

千代を、纏

半須

かり

つく

り

布

枝

地

駿河の國久能山の麓ありて、屋戸  
在りし、白の女、富士の山、ひて、  
や、この地、名を、不盡と、し、て、  
の、い、や、白、ぬ、い、ち、  
事、あり、し、や、う、こ、し、  
あ、り、き、や、ひ、の、あり

駿河備

也、半止、波、未、尔、須、留、加、索、留  
半止者、未、尔、半、知、余、須、留  
崇、美、者、崇、久、佐、乃、以、毛、放  
於、古、止、古、曾、與、之、崇、久、佐、乃  
以、毛、者、古、止、古、曾、與、之、安、都、留  
止、支、以、左、者、稱、奈、年、也、崇、  
久、佐、乃、以、母、古、止、古、曾、與、之、



布蓬半須

山城國

山品の石田の  
小野ノ母蘇原  
見午哉公、山  
路越くじ

宇合卿



山紋白

同國 夜伊豆の郷  
近き里に見 梓加

萬葉集歌

燒津邊 吾去鹿齒  
駿河京流阿倍乃市  
道爾相之兒等羽  
裳



伎泥迦禰半須

木曾の山路馬籠の柳山川  
あはれ白おら流れたる五月

雨天令れし

流る  
山河

るし觸れ

君う推

る

あらし

し



陸奥の毛布(里) (古河の) (下)  
存りて今も毛布内(里) (古河の) (下)  
つぎ錦木立(事) (古河の) (下)  
残る秩布(事) (古河の) (下)  
黒澤氏(家) (古河の) (下)  
り(事) (古河の) (下)

毛布内の土毛  
花地(家) (古河の) (下)  
と業(事) (古河の) (下)  
紫州(家) (古河の) (下)  
品(事) (古河の) (下)

奇女歌

只を基の坂(事) (古河の) (下)  
中のナ(事) (古河の) (下)  
日を(事) (古河の) (下)

仲の末(事) (古河の) (下)  
つ(事) (古河の) (下)  
差(事) (古河の) (下)

不在(事) (古河の) (下)

不在(事) (古河の) (下)



年良佐伎字須

女白二睡

道奥あつて池山の葉

口園花巻



世よりうらやま碓秋  
あつてま交抽う  
さうさ山 昔の葉  
十七八とふ連ねて板を  
通されをさうて花を  
さうさうの類々  
小櫻  
さうさの山乃昔の葉をさう  
くさのしめあげて吹か  
それとさうのくさの葉

見とれを  
ハッさうり  
まてたれ  
かうし  
列甲し  
まてさ  
まてさ  
あひし  
豆の丸  
九ツの豆  
まてたれ  
待たれ  
つきの意

冬朝夜明  
かきの水  
九ツの豆  
さうさ  
ついで長看とれ

みちれおく二戸のつら  
在りてつら白  
柳春白く女のうさ

さうと月夜

夜明

君の



柳三理宇須



同國部一戸の驛驛の小臼子の物白とてありてふやう  
 此山路を浪舟坂と波舟峠と云ふなりし事  
 末の松山ありてありし事  
 能谷次郎直實次郎の権大栗も  
 麓の里の馬柵馬柵も残れりとの  
 ありあり

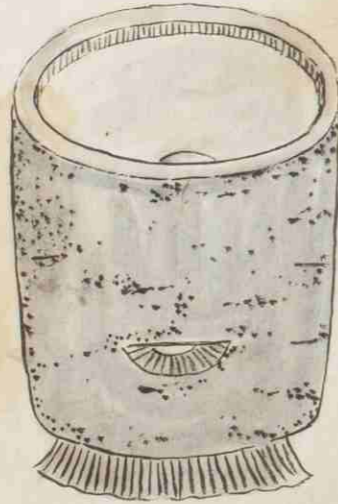


許字須

津輕 蒼杜の浦泉郎の屋敷  
 在りしものそのの似たる奥形  
 の名ありせり

伊表加貝多

みちのく  
 一色  
 善形  
 夜須  
 迦多



同 三馬屋の瀨  
在りし帯白

松前のきみ  
うすのくさむし

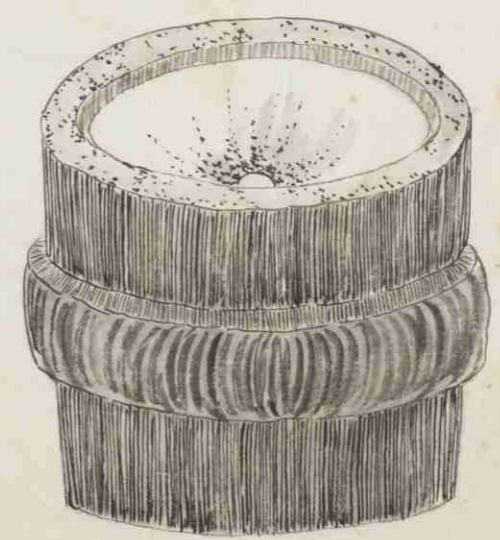
寒葉齋  
護太理

船うけ

月

うすのくさむし

うすのくさむし



瀨備う須

前にも祈るる甲斐  
あつと春  
おろみきつこみ  
けり

あつとくみ  
人もあつみ  
白くさむし

あつとくみ  
あつとくみ  
あつとくみ



陸奥の津川吉前  
 童の夜更に  
 姉も持たせ  
 庭中白を  
 是を度め  
 笛つみ  
 うけひき  
 りのし

うづり舞と  
 白影  
 うづり  
 舞



其一  
 蝦夷國風俗

登比麻 許多年  
 波比麻 結  
 迦比導 波斯  
 渡部阿 斯  
 麻新 斯

遠く  
 蝦夷國風  
 小



其二  
 大木臼 一腰  
 鯨木箕 一枚  
 坐臼 三腰

臼をゆく通志字とみ  
 本を途とみ以白志字  
 と入聲とみ  
 比印田麻途比雷麻途志字  
 の有詞あり



坐臼 和人器印カス  
 縦長ゆ白あり横長ゆ作あり是と横臼と  
 子こ上りしり  
 うのり余久須とみ  
 余久須とみ  
 ちせまありから  
 ちしとる秋の横臼あり  
 あしめそのさち多れと  
 二ミとや一のミ  
 横臼は七八升あゆを五六升  
 のよりで壽石



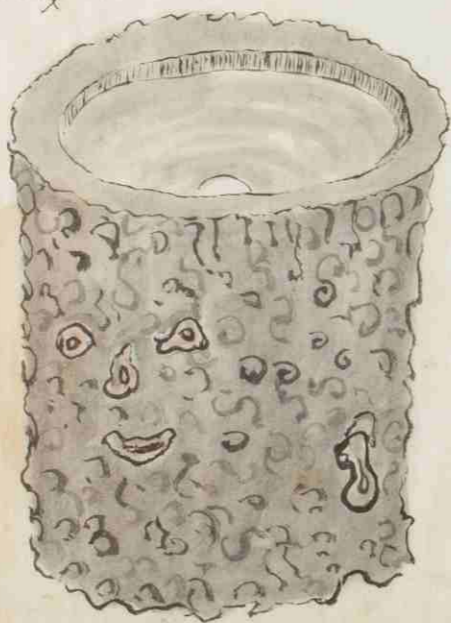
糴<sup>カシ</sup>磨<sup>ビレ</sup>精<sup>カ</sup>とを 糴<sup>カシ</sup>米<sup>メ</sup>の  
良<sup>ヨク</sup>く 春<sup>ハル</sup>うりとの 詞<sup>コト</sup>あり



其七

福山の西の江差の湊  
此上の國といふ浦  
化物曰しひりて変化  
白くもつかりとあり  
見ふれしりつれ  
大なる榎の木自然曰  
古の昔の儀より  
まろしき木の節  
みり目鼻の目まも  
くの奇のしきも  
つれもきりてい夜  
童の足は桶にぬれ  
外よりち捨すも  
細衣を着る男の  
目あり眼あり鼻あり  
耳あり口あり舌あり  
詞の教れもつかり

邊祁母乃于須



其八上

カク西残の取掛布と(浦)  
在りつる白のあまうり  
いを老のうのうをさ  
みはれらりたるはし  
みりしと老白とわれし  
捨ちりたりぬせり年  
あまうりしはの  
かきしを神の付し  
つこもかかれぬ比  
白すこくちの身の老  
とをうらちけし  
もはくみ来んし  
かせのし  
わかくし  
れ老の調子と  
いし老白とも名つけし



游由字須

須理字須いひよりひさゆりひさ左右也

片磨(こ)土磁子(な)と其品いと多し  
和名抄(こ)磁 兼名花云磁(な)粉  
一名磚(こ)麻名籠也唐韻云  
唐名籠(こ)音與麻籠同又並  
去聲和名須利字數  
磁也 兼名(こ)集一  
佐比豆(こ)留夜辛磁(こ)爾香(こ)莊  
立磁子(こ)爾(こ)長(こ)白(こ)とあり本居(こ)宣(こ)長(こ)云  
磁(こ)子(こ)の(こ)認(こ)わ(こ)く(こ)む(こ)と(こ)す



磁子 母の豆備伎

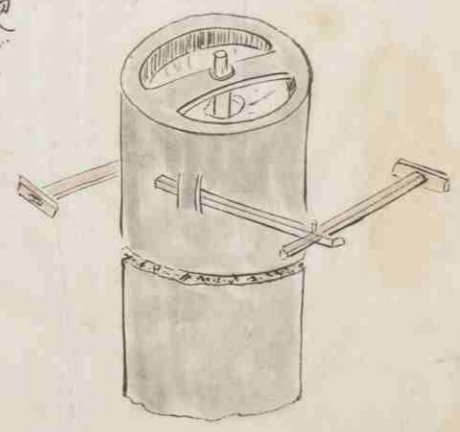


磁子 片手曳

片手車二人曳磬子  
其事小句云々

古事記傳二十六之卷  
代宮一之卷

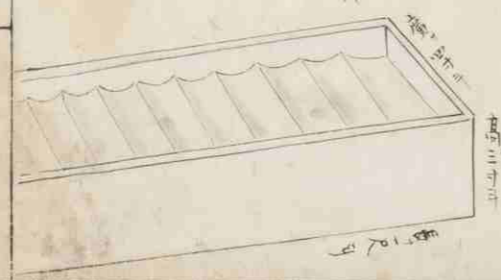
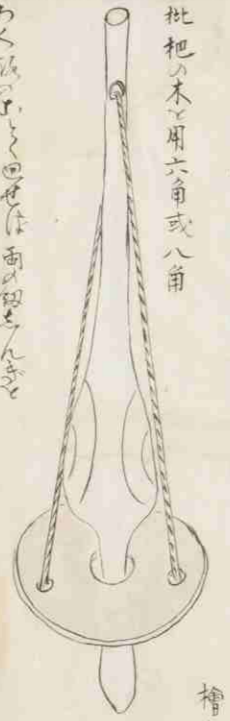
大帶日子於斯呂和氣天白王  
若建古備津日子之各針問之  
伊奈毘麻大郎女小駮尊一日同胞  
書紀小大確白王子小確尊一日同胞  
雙生天皇異之則誥於確故因  
號二王曰大確小確也  
手居宣長曰抑雙生也之異み賜へ  
物こそはれ確小も誥賜へ何の由有る此を何まもも確  
所江あり事々へも真澄なり  
稻日大郎女の御子と確磬子誤りて磬子も  
生もつと須理字類の上雨ふか女もあはひくはる稲日大郎女  
のゆこの御子て大確小確とて



火のくさきしうらうら火籠かしきもの伊勢兼宮名所圖會曰云  
忌大屋殿 手居宣長曰南あり朝夕御供を焚き  
火籠大屋殿とて一殿を分ち西の間を炊屋殿と東の間を御白殿と  
す時とて神供を誥つ事あり是も今も餘りあり  
かり梓用ひとも担座を類し用ひ大古の風なり  
水不加二身浦に瀬とて備後も此殿まで用ひるき大屋殿  
古例圖のあり今俗に奈禮の前でよまひ此イの轉しあり

錐の圖

火籠のくさきしうらうら火籠かしきもの伊勢兼宮名所圖會曰云  
大古のまはりて火籠かしきもの伊勢兼宮名所圖會曰云  
批杷の木を用六角或八角



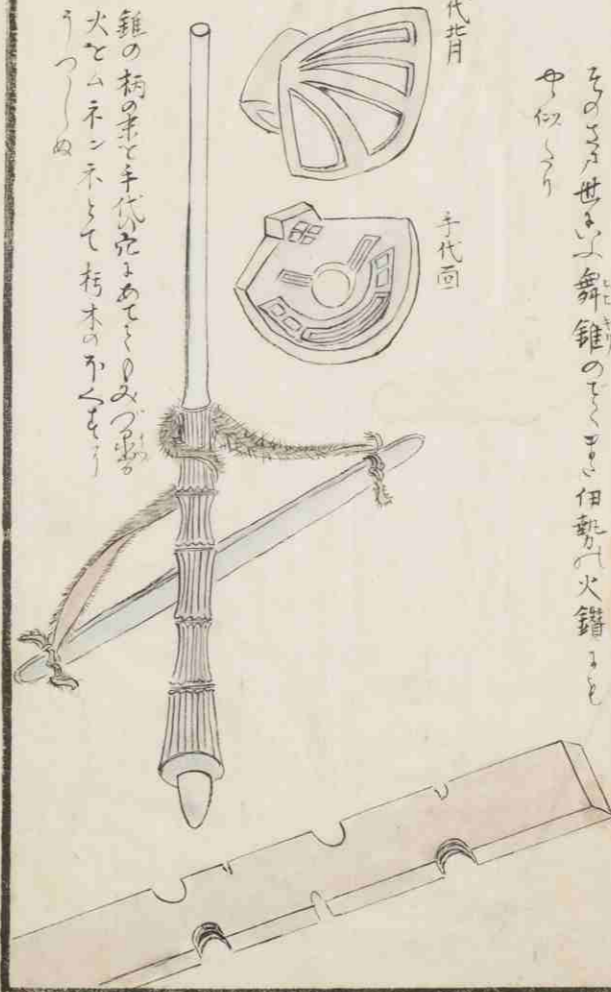
火籠のくさきしうらうら火籠かしきもの伊勢兼宮名所圖會曰云  
大古のまはりて火籠かしきもの伊勢兼宮名所圖會曰云

陸奥國蝦夷洲の火鑪の圖

鑪を火針といひ、鑪火板と火臼といふ  
そのまゝ世より舞鑪のてくま、伊勢の火鑪とも  
や似たり

手代背

手代面



鑪の柄の末で手代をよめてとみ、火の  
火のムネに木として朽木のやうに  
うつつぬ

和名 土鑪の室  
十四貫目泉

かゝり 杵

八貫目四百  
八

六貫目

とありて春ぬ

とふ、櫛の末して作

もあれ、秋田の土鑪

漆の末、かゝり、櫛をりて

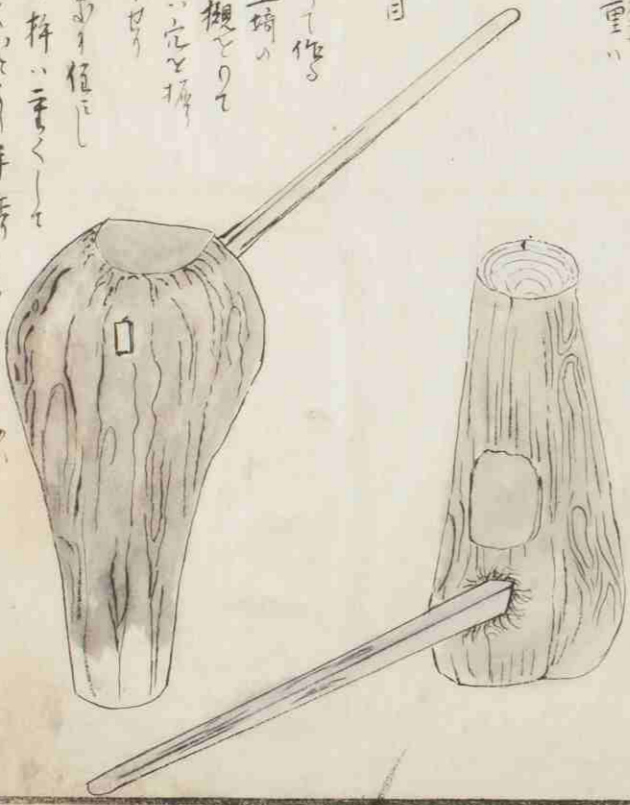
作り、鑪の杵、土鑪と極

石とこめ、埋木せり

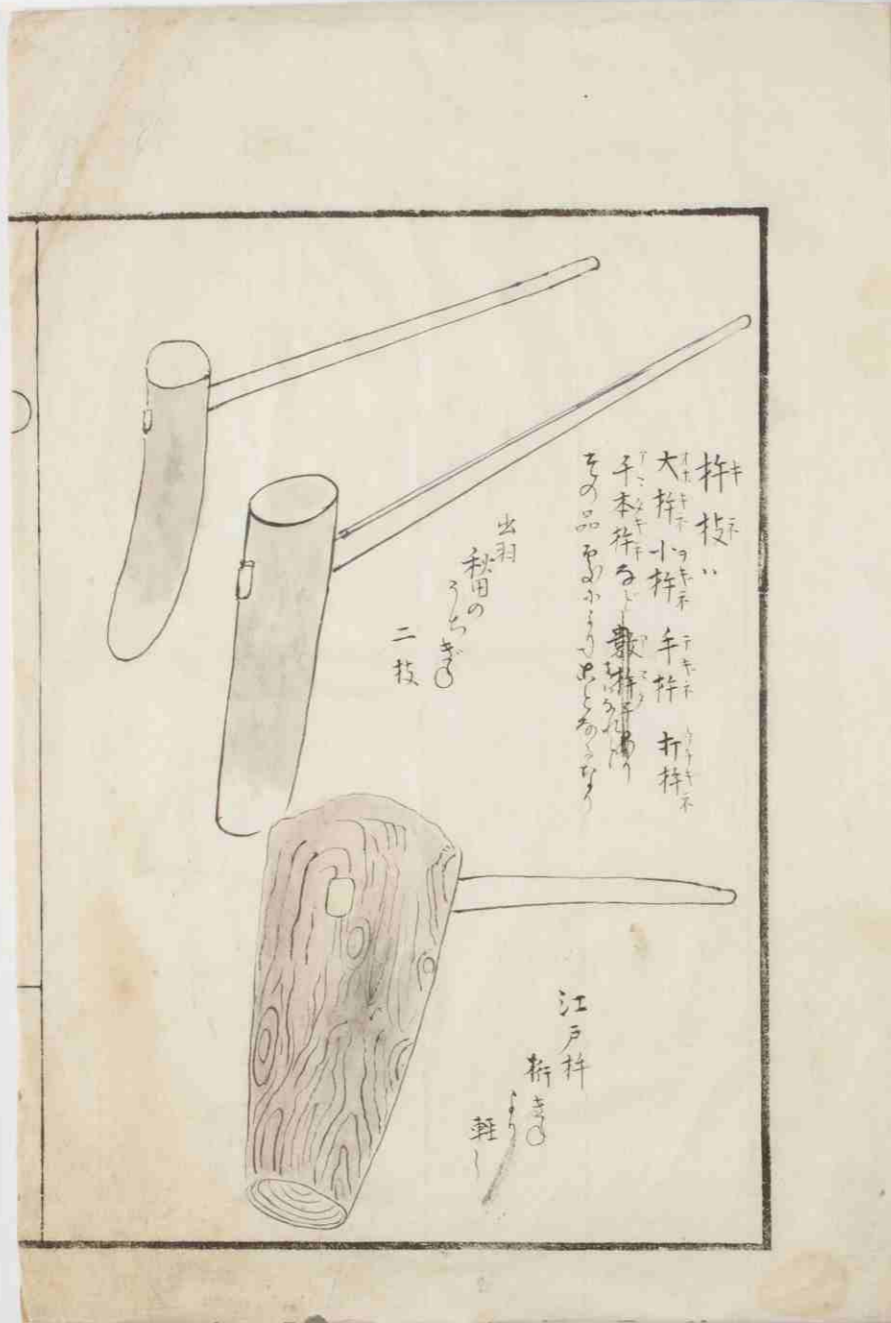
秋田の八丁といふ、土鑪に

高平か作り、杵、まゝ、かゝり

揚より、軽く、春く、かゝり、杵作り、名、かゝり



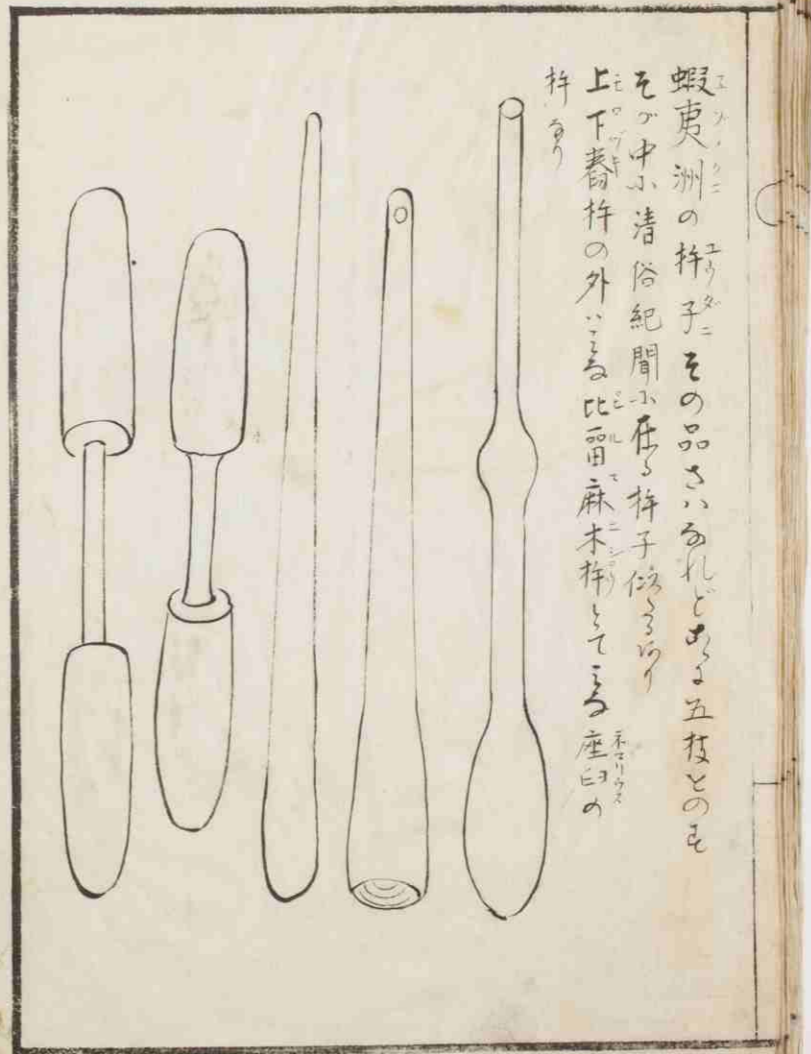




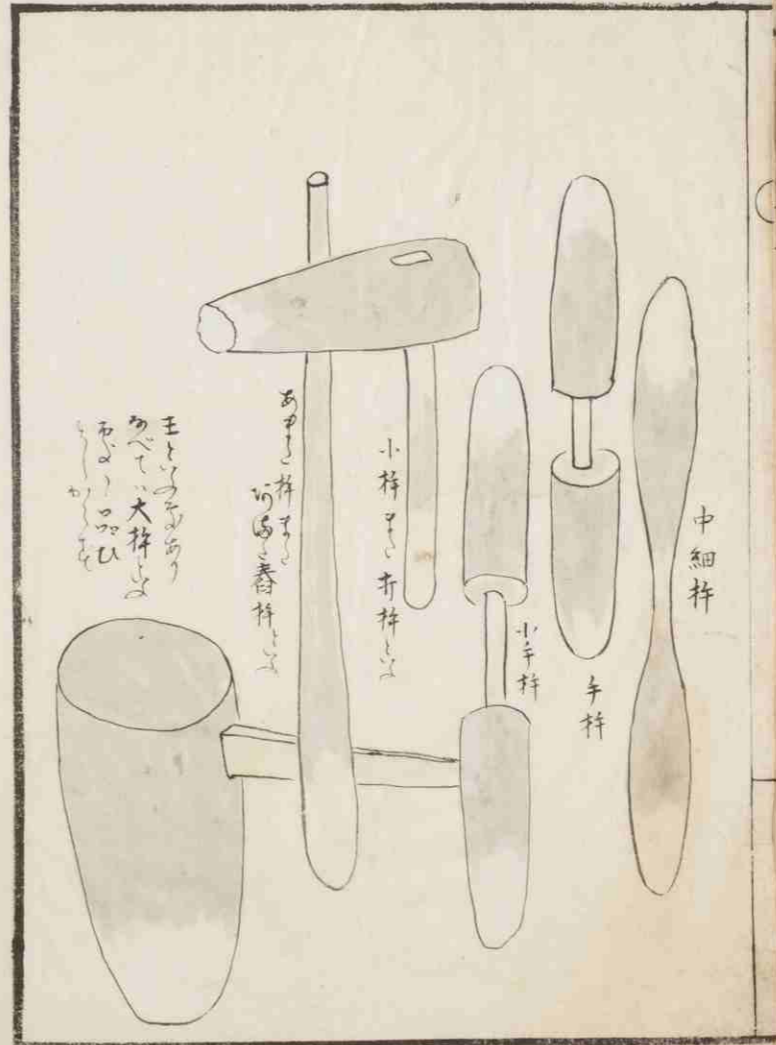
杵シ 杖シ  
 大杵オホシ 小杵コシ 半杵ナハシ 打杵ウチシ  
 子杵コシ 本杵ホンシ 兼杵カンシ 兼杵カンシ  
 その品その品 江戸江戸

出羽出羽  
 秋田秋田  
 二枚二枚

江戸杵江戸杵  
 杵シ  
 軽軽



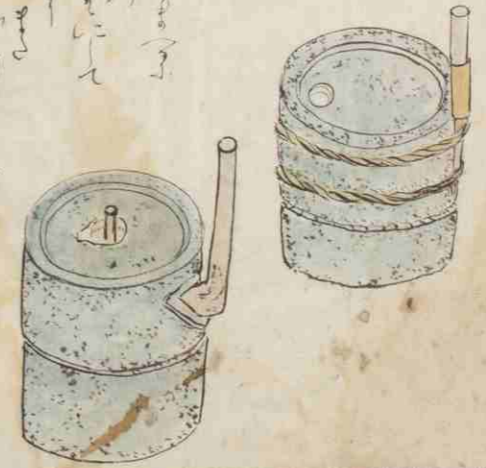
蝦夷洲エゾ の杵シ 子シ その品その品 ささ ゐい れれ どど ああ るる 五枚五枚 とと のの 品品  
 中中 清俗清俗 紀聞紀聞 不在不在 杵シ 子シ 似似 たりたり  
 上下上下 齋齋 杵シ の外の外 比留比留 麻木麻木 杵シ としてとして 座座 白白 のの 杵シ ありあり



石臼の形は、世にいろいろあるが、その中でも、石臼の形は、  
 石臼の形は、世にいろいろあるが、その中でも、石臼の形は、  
 石臼の形は、世にいろいろあるが、その中でも、石臼の形は、  
 石臼の形は、世にいろいろあるが、その中でも、石臼の形は、  
 石臼の形は、世にいろいろあるが、その中でも、石臼の形は、  
 石臼の形は、世にいろいろあるが、その中でも、石臼の形は、  
 石臼の形は、世にいろいろあるが、その中でも、石臼の形は、  
 石臼の形は、世にいろいろあるが、その中でも、石臼の形は、  
 石臼の形は、世にいろいろあるが、その中でも、石臼の形は、  
 石臼の形は、世にいろいろあるが、その中でも、石臼の形は、



ぬくさつちるへー目の  
 老翁の出来いこつ  
 音もみへ後、季札が級と塚  
 盗人、あれ石臼、ぬも盗人  
 月、うのり、夕顔、陽、ひらり  
 事、をぬりえを、撫、ま、つ、ら、り  
 その飢を、も、つ、つ、た、文、王、の、始、ま、つ、つ、  
 ぬ、も、の、ま、い、て、色、も、唱、歌、も、古、代、の、ま、い、て  
 白、隠、和、尚、も、那、須、與、市、矢、生、ま、あ、ろ、も、お、福、自、り、と、く、  
 人、こ、ら、し、も、石、明、よ、つ、つ、



明治四拾貳年三月二十日書之

21/21

